

今日も晴天で、マン張りの付いて目立つから、またバスで下山する。お土産屋は大繁盛である。ピジターセリという印象である。世界遺産と呼べるだろうかという印象である。

### 富士山と世界遺産

荒牧 重雄



反射板  
ある富士山で、も、はっとするくらいに存

在感を示す。

近年、富士山のおも

とに勤務するようにな

つて以来、東京で見

る富士山の遠景と山麓

を見る近景との食い違

いに、強い違和感を抱

くようになった。理由

は、単純で、富士山を

近くで見ると、いろいろ

な人工物の輪郭が山容

合目まで行くと、もっ

と衝撃的な光景にぶつ

かる。夏の3カ月間で

250万人が訪れると

いう五合目終点の混雑

ぶりは大変なものであ

る。外国人も多い。

約25万人は身支度を

整えて、山頂を目指し

て歩き出す。残りの人

たちは30分くらい滞在

えている。富士山は日

本の国立公園の一つで

ある。それにもかかわ

らず、ほかの観光地と

変わらない商業化され

た光景であり、雰囲気

である。

富士山を世界文化遺

産に登録しようとする

手続きが進み、日本政

府がユネスコに申し入

れる段階まで来ている。しかし、これで世界遺産と呼べるだろうかという印象である。世界遺産の大きな目的の一つは、人類の遺産としてこれを損なわずに次の世代に伝えていくということである。現状も問題であるが、損なわずに次世代に伝えられるかどうか、重大な疑問である。環境をきれいに、景観を美しく……と口で言っても心がついていかぬようである。観光客が地元で落とす金額のほんの一部でも、将来の世界文化遺産の品格を支えるために使えばいいのと思う。当事者間で話し合いができてきかないものだろうか。(東京大学名誉教授)